

## 親善大会で一の宮中野球部が優勝！

第10回阿蘇市仙酔峡つつじ祭り招待親善中学野球大会が5月8、9日、一の宮総合運動公園と農村公園あびかで開催され、県内外17チームが参加した中、一の宮中野球部が昨年に続き優勝しました。

一の宮中は、西合志南中、城東中(大分)、大村中(長崎)、西彼中(長崎)を下し優勝。守備・打撃ともに優れ今年も活躍が期待されます。



## 三十六坊の歴史を広く伝えたい 地元有志が坊舎跡に標柱を設置

▶「坊中会」(岩下哲三会長)の皆さん



黒川地区には昔阿蘇で栄えた山岳仏教の修行僧たちが暮らした坊舎跡(三十六坊)があり、史跡として類のない魅力があることから、もっと多くの人に知ってもらおうと、地元の有志の方々が「坊中会」を立ち上げ、坊舎跡に標柱を立て始めました。標柱は一枚板の立派なつくりで、今後、三十六坊跡すべてに立てる計画です。「場所が阿蘇駅に近いことから九州新幹線全線開通で駅を降りた人たちに、手軽に行ける散策スポットとして親しんでもらいたい」と皆さん。訪れた人たちに一つでも阿蘇の魅力を感じてもらいたいと手弁当の地域連携活動による、地域力向上に頑張っておられます。

### 三十六坊とは

平安時代後期に、修行僧などが常住する山上坊(古坊中)<sup>ふるほうちゅう</sup>が整備されたといわれています。火口と草千里の間に三十六坊五十二庵あったとされ、九州山岳仏教の聖地のひとつ<sup>ふもとほうちゅう</sup>でした。戦国時代に衰退しますが、江戸時代の初めに加藤清正が黒川地区(現在の坊中付近)に再建し、「麓坊中」と呼ばれました。

## エコボランティア活動をして小学校に図書カード、阿蘇中央病院にデジタルテレビを寄贈

5月10日、オムロン阿蘇株式会社(中島代表取締役社長)と同社労働組合(酒井執行委員長)は、昨年度1年間会社全体で取り組んだエコ活動、ボランティア活動の成果をポイント制にし獲得点を地域に寄附するとして、市教育委員会に小学校11校分の図書カードを前年度に引き続き寄贈されました。

また、オムロン阿蘇株式会社の産業医を阿蘇中央病院が担当していることもあり、阿蘇中央病院にデジタルテレビ1台の寄贈も行われました。

創業77年目(オムロン阿蘇は37年目)を迎えるオムロングループでは、「企業は社会の公器」の企業理念のもと、国内外で様々なボランティア活動を展開されています。オムロン阿蘇では、従業員の皆さんが日常的に環境やボランティアを意識し、節電やリサイクル、献血などに取り組まれているということです。



▲佐藤市長に目録を手渡す鳥越常務取締役